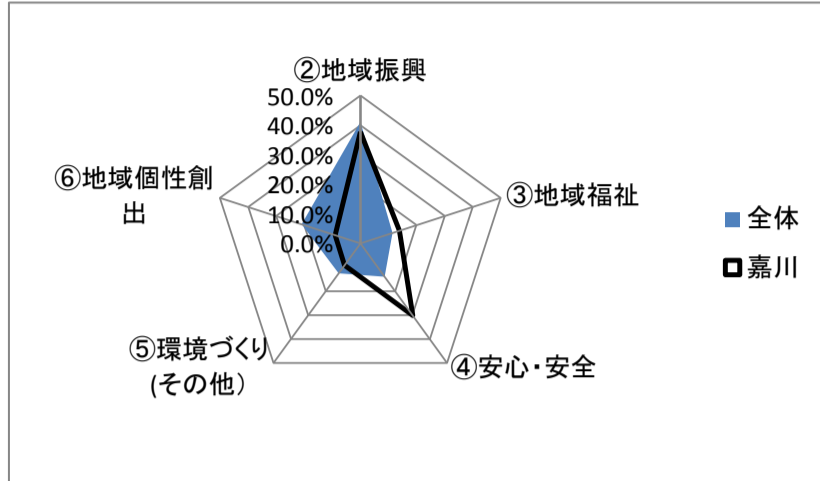


嘉川地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成28年度決算)

■ 地域の情報

地域人口	6,471人	自治会数	39
世帯数	2,506世帯	自治会加入率	87.07%

※数値は、平成29年4月1日のもの



交付金配分枠	12,677,000 円
交付金決算額	12,433,767 円
その他収入	1,078,305 円
決算/配分	98.1%

各項目の決算

①協議会運営	4,575,122 円
②地域振興	1,537,898 円
③地域福祉	566,426 円
④安心・安全	1,230,187 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,862,636 円
⑤環境づくり(その他)	373,064 円
⑥地域個性創出	366,739 円
決算総額	13,512,072 円

地域づくりの活動方針(テーマ)

調和の取れた地域の発展と住みよい嘉川の創出、並びに文化教養の向上による地域づくりの推進

総括

今年度は、第2次5カ年計画の2年目でした。第1次計画からの継続事業は、だんだんと定着し、地域住民の憩いや交流の場となってきています。また、第1次計画で作成したふるさと嘉川の遺跡・史跡の冊子を利用したイベントも開催されたりと、第1次計画の成果が徐々に広がってきています。また、防災意識の向上を図るために小学4年生を対象に防災学習を実施しました。

概要

①協議会運営	事務局人件費 事務費
②地域振興	にこにこ・ワイワイ広場等の整備、あいさつ運動の推進、花いっぱい運動の推進、遺跡・史跡の継承と郷土学習、総踊り支援、地域づくり協議会広報
③地域福祉	健康や生涯スポーツへの支援、地域住民の交流や憩いの場づくりの推進・支援、子育て支援、福祉に関するボランティア活動の推進・研修会への支援、子どもと高齢者の世代間交流
④安心・安全	地域防災力の充実強化、児童生徒登下校時の安全確保、高齢者等交通事故防止の向上
⑤環境づくり	土木工事、道路・河川の清掃活動、地域環境美化活動の推進
⑥地域個性創出	地域産品・交流創出事業、古記録・古行事・古写真の収集、ふるさとかがわ学習コーナーの利用促進

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	地域防災活動の充実、強化及び地域住民の防災意識の高揚を図ります。																					
	事業名	地域防災力の充実、強化	決算額 953,667																				
	事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 平成28年度山口市防災実動訓練が、嘉川地域を対象に開催されました。その中で、嘉川自治連合会では、住民避難訓練と炊き出し訓練に取り組みました。また、同時に中学校と連携して1.2年生を対象に防災学習が実施されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月5日 8:00～14:00 メイン会場 川西中学校 自治連組織 本部班、避難所班(3か所)、配食班、炊出し班、交通整理班 約70人 参加中学生 160人(1.2年生) 住民避難訓練 参加者数 365人 炊出し訓練 嘉川婦人組織、災害ボランティア嘉川 約40人 (カレーの調理及び配食 700食分 協力:自衛隊) 事前協議 平成28年9月～平成29年2月(計12回) <p>2 小学4年生を対象に防災学習を開催しました。(嘉川・興進小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月29日 9:30～12:00 (嘉川小:21人) 平成28年7月4日 9:30～12:00 (興進小:23人) 読み聞かせと紙芝居 防災講話、災害図上訓練(DIG)、非常食の試食を実施しました。 指導者:NPOぼうぼうネット、嘉川読書クラブ、防災指導者 約20人 <p>(成果)</p> <p>避難訓練では、発災時における防災情報伝達手段の確認が概ねできました。また、避難に参加した自治会は、39自治会のうち34自治会で、総人数は、365人でしたが、自治会地域で参加者数に大きな違いがありました。炊出し訓練では、調理機材・食材・量・組織等の把握確認ができました。中学生、小学生の防災への関心がうかがえ、防災の戦力としても期待されます。</p> <p>(評価)</p> <p>避難訓練の参加が、5人未満の自治会が19自治会と参加自治会の約半数で、そのうち参加者なしの自治会が5自治会あったので、防災意識の定着を図ることが必要と考えます。また、防災の推進組織や体制については、概ね確認ができました。また、中学生の防災学習は、中学生に実施したアンケート結果からも効果があったと考えています。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>多くの住民が防災活動に参加するよう工夫しながら継続して活動を進めます。また、自治会や自主防災組織との緊密な連絡調整、情報伝達の徹底を図るため、嘉川地域での防災組織の設置を検討します。また、小中学生への防災学習は継続して実施していきます。</p>																					
②	視点	地域住民が集い、活発に交流することで地域づくりの活性化を図ります。																					
	事業名	地域産品の創出と交流の促進	決算額 356,739																				
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>1 小学生や中学生を対象にした料理教室の開催や禅定寺山ふれあい登山、酒米稲刈り等のイベントで地域内産の米、野菜の消費拡大や地域特産のノリなべ等の試食による普及に努めました。</p> <p>2 地域内で生産された酒米を使用して、オリジナルの酒を造り、新酒発表会等を開催して、酒米生産の継続やオリジナル酒をPRして流通、消費の拡大に努めました。</p> <p>3 酒米の田植えや稲刈り等自然体験イベントの開催により、人の交流を促進して地域産品への関心向上を図りました。</p> <p>4 活気あるまちづくりを進めるため、小学生の「子どもみこし」を作り、地域の祭典に参加しました。</p> <p>(実施時期・参加人数)</p> <table border="1"> <tr> <td>小学生料理教室(朝食づくり)</td> <td>平成28年11月21日</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>中学生料理教室</td> <td>平成28年8月18日</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>禅定寺山ふれあい登山</td> <td>平成28年11月20日</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>酒米田植え</td> <td>平成28年6月12日</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>酒米稲刈り(ノリ鍋)</td> <td>平成28年10月9日</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>新酒発表会</td> <td>平成29年2月26日</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>子どもみこしの参加</td> <td>平成28年9月11日</td> <td>65人</td> </tr> </table> <p>(成果)</p> <p>地域産品の消費拡大、PR、ノリ鍋の普及ができました。オリジナル酒(嘉穂の郷)の醸造と酒米の継続生産の見通しが立ち、商品としても注目されてきました。また、自然体験イベントが定着してきました。地域の祭典に子どもみこしが参加することで、大きく盛り上がりました。</p> <p>(評価)</p> <p>地域産品として創出した酒「嘉穂の郷」も次第に地域に浸透しつつあります。また、一連の行事が恒例のイベントとして定着してきました。地域の産物への関心が高まりつつあります。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>引き続き、地域産品の消費、普及、開発に努めていきます。</p>		小学生料理教室(朝食づくり)	平成28年11月21日	30人	中学生料理教室	平成28年8月18日	20人	禅定寺山ふれあい登山	平成28年11月20日	100人	酒米田植え	平成28年6月12日	94人	酒米稲刈り(ノリ鍋)	平成28年10月9日	80人	新酒発表会	平成29年2月26日	25人	子どもみこしの参加	平成28年9月11日
小学生料理教室(朝食づくり)	平成28年11月21日	30人																					
中学生料理教室	平成28年8月18日	20人																					
禅定寺山ふれあい登山	平成28年11月20日	100人																					
酒米田植え	平成28年6月12日	94人																					
酒米稲刈り(ノリ鍋)	平成28年10月9日	80人																					
新酒発表会	平成29年2月26日	25人																					
子どもみこしの参加	平成28年9月11日	65人																					

視点	地域の高齢者が生きがいを持って生活できる場を提供し、健康づくりを推進します。		
事業名	高齢者が安心して生活できる地域づくり	決算額	90,000
③ 事業概要	<p>(実施内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 単位老人クラブ(7クラブ)のスポーツの集いに支援をしました。 嘉老連主催の地域の高齢者に呼びかけたスポーツの集いへ支援をしました。 2 見守り活動研修会を実施しました。 3 高齢者の通院、買い物などの交通対策のための研究を行ないました。 <p>(実施時期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各単位老人クラブの計画にあわせ実施(7クラブ) 通年 嘉老連主催のカローリングの集い 平成28年11月23日 2 見守り活動研修会 平成28年7月30日 3 高齢者の交通対策研究 平成28年12月10日 <p>(参加人数)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 単位老人クラブ 約150人 嘉老連カローリング 35人 2 見守り活動研修会 60人 3 高齢者の交通対策研修会 39人 <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 軽スポーツを楽しむことを通して、会員同士、高齢者同士のつながりや親睦を深める事ができました。 2 高齢化が一段と進むなか、見守りの必要性を多くの方が感じられ、質疑も多くありました。 3 支援制度の説明は、十分できたと考えています。 <p>(評価)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者が本気でスポーツに打ち込む姿は大切と実感できる数少ない場のひとつです。 2 研修により見守り活動への理解が深まりました。 3 支援制度の活動には、制限が多く十分ではないと感じました。 <p>(今後に向けて)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の軽スポーツによる交流を促進します。また、老人クラブへの加入を促す事業として継続して実施します。 2 今後も年1回の研修会を開催したいと考えています。 3 高齢者の交通問題について、よりよい方法を嘉川地区独自で考える必要があります。 		